

確かな学力・豊かな心・健やかなからだをもち、
未来をたくましく生き抜く生徒の育成

明日から夏休み

梅雨明け宣言があつたにもかかわらず、前線の影響で1学期前半の終了日まで、雨になつてしまいました。

1学期前半が終了します。節目の一つです。

夏の一番暑い時期を迎えるこれからは、学習の効率が悪くなつたり、体調面でいつもより配慮が必要だつたりします。

そのために、学習の場をいったんご家庭に戻し、それぞれのペースで学習を進めたり、日頃できないことをやつたりする期間として、夏休みが設定されています。

とは言え、サマースクールや部活動、いろいろな行事などで、学校に出てくる機会も多いと思います。しっかりと計画を立てて過ごさないと、あつという間に終わつてしまふということは、夏休みのベテランである、皆さんが一番よく知っていることだと思います。

「夏休みを充実させるための5箇条」

- ① 1学期前半の反省をしつかりする
- ② 「早寝・早起き・朝ご飯」を心がける
- ③ 計画を立て、やるべきことをやる
- ④ 読書をする
- ⑤ 何か新しいことに挑戦する

夏休みは、皆さんの「自主性」や「主体性」が試される期間です。自主性とはやるべきことに自分から積極的に取り組むこと。主体性とは目的をやることを含めて、自分で考え、決め、取り組むことです。

夏休みを充実させるかどうかは、これからの学校生活をがらりと変えてしまうほど大きいと思います。

健康で、安全で、充実した夏休みを！

《充実した修学旅行～2年生》

天気が心配される中での出発でしたが、現地は比較的天気が良く、行程の変更もなく（帰りの飛行機がややヒヤリとしましたが・・・）無事終えることができました。

公共交通機関の利用、京都の班別自主研修など、協力し合ってやり遂げる課題が満載で、良く計画された内容だったと思います。全員が公共のマナーを守りながら、それでも元気に楽しく学習できたことが何よりだったと思います。

思い思いの感慨を胸に、手にいっぱい荷物を持って須木体育館前に笑顔で戻ってきた姿を見て正直ほっとしました。引率の先生から「この短い期間に、子どもたちはとても成長しました。」という、嬉しい報告もいただきました。「自分が変わる」修学旅行だったんですね。



（U.S.J. 前にて）

《福祉体験活動で奇跡が・・・～3年生》

2年生の修学旅行の期間中に、3年生はいろいろな福祉体験学習を行います。今年も、福祉講話、



高齢者疑似体験、美穂の里訪問、認知症サポート養成講座などを行いました。

美穂の里訪問では、マジックあり、歌あり、風船バレーありで、高齢者の皆さんと楽しく交流をすることができました。「どうすれば、伝わるのか」を考えながら、自分たちの手作りの出し物を一生懸命やっていました。



後日、所員の方からこんなお話がありました。普段ほとんど話さない入所者の方が、中学生が帰った直後、皆さんの訪問について語ったそうです。「とにかく驚いた。」とその方もおっしゃっていました。皆さんはそんなスゴイ力をもっているんです。皆さんの思いは、間違いなく伝わっていたんですね。